

# 岸城神社



だんじりが  
14台宮入するよ！

岸城神社の境内地は当時の岸和田城主、小出秀政によって隣邑に鎮座していた牛頭天王と、岸和田城築造以前に当地で祀られていた天照大神と八幡神が併せられ成立しました。

その後、天照大神は、天照太神小社として別の境内(後の神明門付近)に祀られ、牛頭天王と八幡神とは同境内に祀られて御宮と呼ばれておりました。

# だんじり会館



だんじり会館は  
月曜日が休みだよ！

岸和田だんじり会館はだんじり祭の長い歴史や迫力を目の当たりにできる施設。館内のイベント広場では実物のだんじりと 27 面のマルチスクリーンによる映像で祭の熱気と迫力をリアルに再現。天保 12 年（1841）に製作され、幕末から平成まで実際に曳行されていた旧紙屋町のだんじりも展示されている。



# 五風荘



## 五風荘は 国の登録有形文化財 だったんだよ！

大阪府岸和田市にある近代和風建築と回遊式日本庭園です。岸和田城二の曲輪の「新御茶屋」の跡地に旧寺田財閥当主家別邸として建設されました。1998年に国の登録有形文化財に登録されたものの、指定管理者制度導入を機に、2008年岸和田市指定有形文化財に指定されました（これに伴い国の登録は抹消）。正門は、奈良東大寺塔頭中性院表門を移築したものです。

# 岸和田城



岸和田城は一度  
落雷で焼失してしまいました。

天正13年（1585）、羽柴秀吉は紀州根来寺討滅後、叔父小出秀政を城主とし、秀政によって城郭整備され、天守閣もこの時に築られました。小出秀政・吉政・吉英、松平(松井)康重・康映をへて寛永17年（1640）、岡部宣勝が入城（6万石、のち5万3千石）。以後、明治維新まで岡部氏13代が岸和田藩を統治しました。



# 二の丸広場



二の丸広場には

昔、サルがいたよ！

岸和田城の天守閣に繋がる道にある広場です。広場内には当時の二の丸御殿に見立てた大きな建物のトイレや、歴史、文化、観光情報の発信などを行う岸和田市二の丸広場観光交流センターが設置されています。

近年、芝生化され訪れる人の一層の憩いの場所となっており、春には定期的に様々なイベントが行われます。

# 杉江能楽堂



現存する能楽堂としては  
大阪府下で最古だよ！

杉江能楽堂は、大正 6 年に旧岸和田城内にあった能舞台の橋懸（はしがかり）を賜り建立されました。

現存する大阪府下最古の能舞台で、国宝に指定されている「西本願寺北舞台」の形式を踏まえたひなびた舞台で、前庭の白州と三本の地植えの松、舞台を取り囲むように L 字型に別棟の見所（観客席）が設けられています。